

技術・家庭科（技術分野） 第2学年

1 教科、分野を学習するねらい

- ・自分で栽培する作物の特性や育成環境を栽培計画にまとめ、種まきから収穫後の調理までを体験し、栽培の技術の必要性や消費者と生産者について考える。
- ・人間はどのようにエネルギーを利用してきたかを知り、エネルギー変換技術の進歩から今後の使用方法等について考える。
- ・電気エネルギーを利用するために機器を知り、はんだづけの技能を身に付ける。
- ・情報処理の仕組みを理解し、相手に伝わる方法を工夫しながらまとめる。

2 教科、分野の学習の仕方

(1) 授業では

- ・挨拶や返事をしっかりと行い、意欲的に授業に参加する。
- ・安全第一で作業に取り組む。（話を聞く。服装を整える。メリハリをつける。）
- ・自分の考えた意見を積極的に発表する。
- ・ペア活動やグループ活動で協力し合う。
- ・授業の用意を忘れずに、提出物は必ず提出する。

(2) 家庭などでは

- ・自分の生活をみつめ、課題を発見し、自分の生活を工夫し、よりよく生活できるように考える。
- ・生活に密接した教科です。学習したことを可能な限り生活の中で生かす。

3 教科、分野の学習内容

時 期	単元名	学習のねらい・主な学習内容
1 学期	〈エネルギー変換〉 身の回りにあるエネルギーを知る はんだづけを習得する	・生活の中にあるエネルギーの種類や仕組みについて知る。 ・エネルギー変換の役割と課題を整理し、今後のエネルギー利用について考える。 ・はんだづけに必要な工具や注意点を知り、安全・正確に作業する。
2 学期	〈栽培〉 生物育成の特性や生育環境等を知る 「二十日大根」の栽培	・栽培する種類（野菜、家畜、養殖）や方法によつての特性や生育環境等の違いを知る。 ・二十日大根の栽培計画や観察記録を作成する。また、食育レポートをまとめ、消費者と生産者について考える。
3 学期	〈情報〉 コンピュータが自動で動く仕組みを理解する 情報を処理する方法を知り、プログラミングの基礎を体験する	・基礎的な制御システムの仕組みを理解し、自動制御を体験する。 ・相手に伝わる方法でまとめる工夫を行う。 ・HTML、CSS、JavaScript のプログラミングの基礎を理解する。

4 評価について

(1) 知識・技能

生活の課題を解決するために必要な知識を身につけている（定期テスト等）

生活の課題を解決するために必要な技能を身につけている（取り組み状況・提出物・作品等）

(2) 思考・判断・表現

生活の課題や技術について、自分の考えを持ち、説明することができる。（取り組み状況・提出物等）

生活の課題を解決するために、適切な工夫をすることができる。（取り組み状況・提出物・作品等）

(3) 主体的に学習に取り組む態度

意欲を持ち、主体的に授業に取り組んでいる。（取り組み状況・提出物等）